

畜産みやぎ

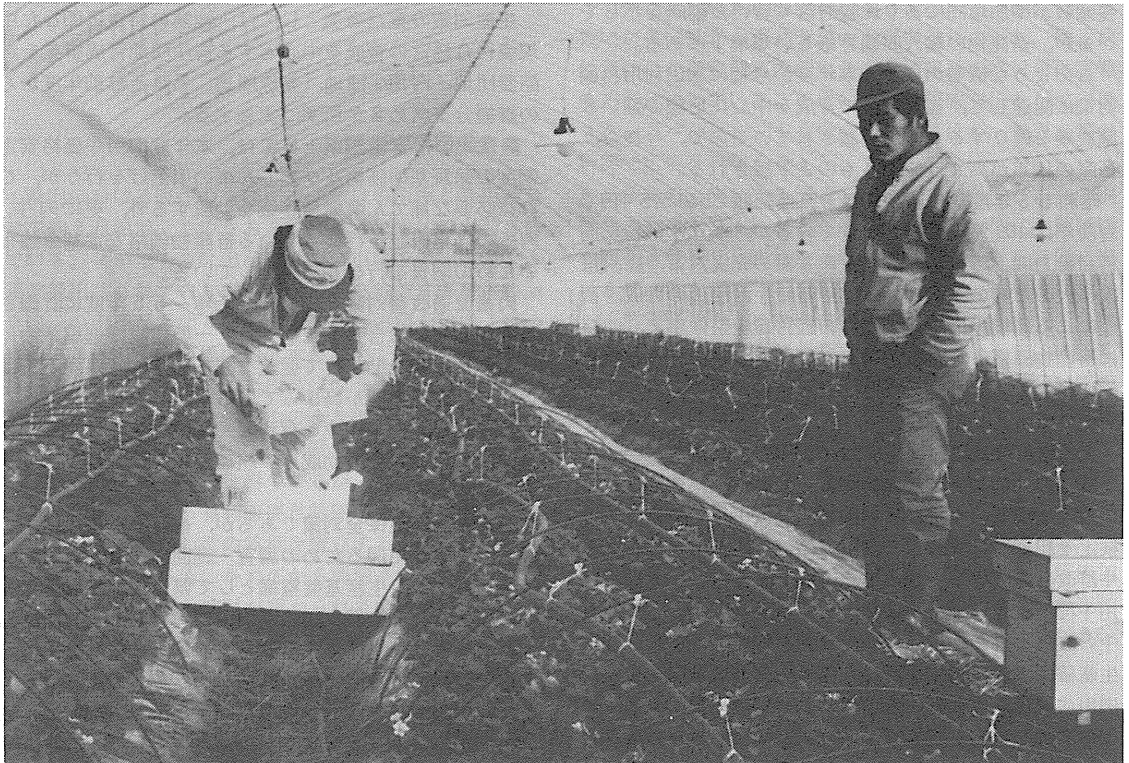
題子
宮城県知事山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
法人宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 大石 武一

定価 1部50円

印刷所 K K東北プリント



ハウス苺にかけせぬ蜜蜂による受粉

もくじ

昭和53年度畜産施策の概要	2
「仙台牛」銘柄づくりについて	3
家畜共済掛金率が改訂になりました	4
【新規事業】 自給飼料生産向上特別対策事業 —略称自給特対事業—	5
新農場の建設すすむ—宮農短大—	6
「宮城県優良畜産経営技術発表会」開催される	8
「北海道、東北ブロック肉用牛経営コンクール」 開催される	8
畜産団体紹介(18)	9
畜産物の市況	9
人の動き	10

昭和53年度 畜産施策の概要

宮城県畜産課

最近における畜産情勢は飼料価格の安定等により、飼養頭数が増加傾向にあり比較的落ち着いた動向を示しているが、畜産物の輸入問題等厳しい環境下にある。

このような情勢の中で、本年度から特に水田利用再編対策に関連して、複合農業の育成を中心に足腰の強い本県農業を確立することが要請されているので、今後益々畜産の比重が高まってくるものと予想される。

昭和53年度県の畜産関係予算は総額2,546,575千円で対前年比109%の伸びとなっているが、本年度は特に飼料自給力向上のための飼料生産基盤の充実対策、経営規模拡大のための家畜導入事業や畜産生産団地の育成、畜産による環境汚染防止のための経営環境整備事業、並びに畜産物価格安定対策に重点をおいて各般の施策を積極的に推進して、畜産の安定的発展と畜産物の円滑な供給を図ることとしている。

まず家畜改良増殖関係では、乳用牛の改良を進めるため、引続き候補種雄牛の計画的生産と優良種雄牛選別のための後代検定を行う優良乳用種雄牛選抜事業と、産乳能力検定を組織的に実施し、乳用雌牛の選抜活用を図る乳用牛群改良推進事業を進める。肉用牛改良については、肉用牛種畜生産基地を育成し、この基地を中心として肉用牛の改良を計画的に行ない産肉能力等経済性の高い種畜生産確保と効率利用を行なう種畜生産基地育成事業及び肉用牛資源を最大限に活用するため、生産農家を対象に指導活動を強化し飼養水準並びに繁殖効率を高め優良肉用牛資源の維持増殖を図るための優良肉用牛増殖推進事業を実施する。豚については、種豚生産者等が共同して組織的に種豚候補豚の生産と産肉能力直接検定を行ない、検定済種雄豚の計画的供給と効率利用を図るための豚産肉能力直接検定普及推進事業の外、純粋種豚の貸付けを

通じて行う優良種豚生産促進事業及び原種豚育種集団強化事業を推進する。

次に家畜導入事業であるが、乳用牛は水田飼料作物作付推進家畜導入事業として、県有100頭、農協有100頭、及び飼料作物作付推進事業で農協有60頭を導入することとしている。肉用牛導入は、肉用牛経営規模拡大促進事業として農協有260頭と、別に県単事業として、水田転作促進対策特別事業の一環として、肉用肥育素牛750頭の予算化をしている。更に従来からの老人牛飼養奨励対策事業で肉用繁殖牛150頭の導入を予定している。

生産対策の重点事業としては、地域の特定に即した中規模複合経営の育成を中心とする畜産団地育成事業を、酪農団地、肉用牛団地、養豚団地、それぞれ前年度からの継続分を含め2ヶ所ずつ実施する。

畜産物価格安定対策としては、本年度肉用牛価格安定制度の保証基準価格及び補てん率の引上げを行うが、これに必要な補てん準備積立金を助成する外、更に肉牛、肉豚の価格保証を行なっている畜産物価格安定基金強化のための増資を行なうこととしている。

肉畜流通改善対策として、54年～55年度に計画されている産地総合食肉流通センターの建設推進協議会にその運営経費を助成して促進を図る。更に本県産肉牛は仙台牛として評価が高まっているが、これを産地銘柄として確立し、安定生産と有利販売を促進するための仙台牛銘柄推進協議会に助成し、組織的にその普及を図ることとしている。

次に畜産環境保全対策であるが、畜産経営に起因する環境汚染防止を図るための調査・巡回指導及び環境整備事業を行うが、生産基盤整備として県営環境整備事業では継続を含め2ヶ所、団体営環境整備事業は1ヶ所計画されており、環境保全集落群育成事業として5ヶ所の家畜排せつ物の農地還元施設整備を行うこととしている。更に畜産経営環境基礎調査事業で、築館と古川の2地域の各種基礎調査を実施する。

草地開発事業では、自給飼料生産基盤の造成と併せて関連施設の整備を図るが、本年度は公共事業の拡大に伴ない、団体営草地開発事業と農業公社牧場設置事業を積極的に推進する。又本年度から新規に公共育成牧場整備事業として3ヶ所の公共営放牧場の整備を行なうこととし



無臭乾燥機
SD-100
SD-400
SD-700



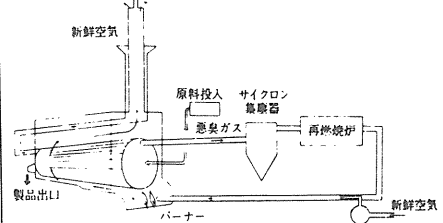
三菱機器販売(株) 仙台支社

仙台市扇町五丁目1-3

LET (0222) 94-3281 (代)

無臭乾燥機の原理

SD 100K 型 } の場合
SD 700 型 }



ており、この外、大規模牧場の効率利用を図るための草地等効率利用プロジェクト調査を引続き実施する。

自給飼料生産対策として、飼料自給度向上を目途に粗飼料生産と、その効率利用を促進するため、自給飼料生産性向上特別対策事業により飼料畑造成、既耕地整備、飼料生産利用合理化施設整備及び稲ワラキューブ施設の設置を進める。又飼料作物生産振興事業、水田裏飼料作物生産事業等の推進を予定している。

生乳流通改善対策では、学校給食用牛乳供給事業を前年度同様実施するほか、指定生乳生産者団体整備強化のための助成、生乳検査協会の検査体制強化のための増資等を通じて生乳流通改善を促進する。

家畜衛生関係では、家畜伝染病の予防対策の強化とともに、家畜畜産物衛生指導協会の自衛防疫体制確立のための増資や、自主防疫事業への助成措置を講ずることとしている。

「仙台牛」 銘柄づくりについて

宮城県畜産課

県内における肉牛の生産出荷頭数は専用種と乳用種合計で約3万頭で、このうち8割は県外に生体で出荷されている。なかでも主な出荷先は東京市場で年間1万4千頭前後出荷されており東京市場扱いの約16%を占め、全国一の出荷県となっている。特に専用種(和牛)についてみると、東京市場の4/4は本県産牛であり、51年の枝肉格付状況を見ると、全出荷牛のうち「上」規格以上が約27%に達し、全国平均の15%を大きく上回っている。このように県産肉牛は消費地市場においては「仙台牛」として高い評価を得ているが、今後更に肉質改善を進め市場における有利販売と販路の拡大を進めるためには「仙台牛」としての銘柄を確立する必要があり、関係生産者団体からも、かねてから要望されていたことであって昨年来から種々検討が重ねられていたが、本年2月21日にその推進母体として、県、経済連、畜連、畜産会、家畜商組合、仙台中央食肉卸売市場会社を構成とする「仙台牛銘柄推進協議会」が設立され(会長佐藤利吉氏)この4月1日から発足することになったのである。

協議会における仙台牛取扱基準としては、黒毛和種で標準出荷体重を概ね550kg以上とし、標準枝肉重量は概ね300~430kgで日本食肉格付協会の規格格付けが、「上」以上のものとしており、この基準に該当するものを産地銘柄「仙台牛」の標示印を枝肉に押印することと

している。この銘柄標示場所としては、当分県産牛の取扱が多い仙台と東京芝浦のと畜場としており、標示格付者は、と畜場駐在の日本食肉格付協会の格付員に委嘱する予定にしている。更に仙台牛の広報宣伝として、ポスター、パンフレットを作成配布するほか、業界紙等の新聞で広告を行なうこととしている。

又販路の定着拡大を図る方法として、県内と東京の消費地中心に本年度は、とりあえず30店の仙台牛銘柄販売店を選定して「仙台牛」販売指定店の看板を店頭に掲げさせ、名入包装紙等を配布して仙台牛の特約販売により、消費普及を進め漸次これを拡大することとしている。このようにして、これから本格的に協議会を主体に広く仙台牛の銘柄普及を図ることになったが、県においても協議会の事業費に対し、一部助成を行なって、強力に銘柄確立を進めることとしている。

すでに17回の仙台牛共進会の開催を通じて、肉用牛の改良生産が年々高揚されてきており、肥育技術も著しく向上しているが、これを契機に今後銘柄牛として、更に評価を高めるためには、一層優良素牛の改良増殖に加え、安定した一定量の生産供給と安定供給先の確保を図るための生産流通基盤の整備拡充を強化する必要がある。

(星)

牧場用柵には
強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 2707503
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 346221

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの
Mr 3000にチビの
Mr 2000が新登場



THB 2000

スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
0222-58-7301

家畜共済掛金率が改訂になりました

宮城県農業共済連

家畜共済の共済掛金率は農業災害補償法第115条第5項の規定により3年ごとに改訂されていますが、このたび昭和53年4月から適用される掛金率が農林大臣より告示されました。地域別の改訂内容は次表のとおりで、乳用牛が若干引上げになりましたが、肥育牛、その他の牛は大河原地域を除いて引下げになりました。又一般馬、種豚については大巾に引下げられましたのでお知らせ申し上げます。

地域名	比較	一般馬			種豚			肉豚		
		総額	国庫負担	農家負担	総額	国庫負担	農家負担	総額	国庫負担	農家負担
県内一率	改訂	10.62	4.248	6.372	10.22	4.088	6.132	5.92	1.933	3.987
	現行	14.92	6.968	7.952	18.52	7.408	11.112	6.12	2.040	4.080
	対比	△4.3	△2.720	△1.580	8.3	3.32	△4.98	△0.20	△0.107	△0.098

家畜共済掛金率新旧比較表

昭和53年4月1日適用

地域名	比較	乳用牛			肥育牛			その他の牛		
		総額	国庫負担	農家負担	総額	国庫負担	農家負担	総額	国庫負担	農家負担
大河原	改訂	13.3%	6.65%	6.65%	6.9%	3.4%	3.5%	4.3%	1.85%	2.45%
	現行	11.9	5.95	5.95	5.2	2.55	2.65	3.8	1.65	2.15
	対比	1.4	0.70	0.70	1.7	0.85	0.85	0.5	0.20	0.30
角田	改訂	12.9	6.45	6.45	4.3	2.10	2.20	2.8	1.10	1.70
	現行	11.9	5.95	5.95	5.2	2.55	2.65	3.8	1.65	2.15
	対比	1.0	0.50	0.50	△0.9	△0.45	△0.45	△1.0	△0.55	△0.45
仙台	改訂	13.4	6.5	6.90	5.2	2.55	2.65	3.4	1.35	2.05
	現行	13.2	6.25	6.95	4.8	2.25	2.55	3.7	1.55	2.15
	対比	0.2	0.25	△0.05	0.4	0.30	0.10	△0.3	△0.20	△0.10
大和	改訂	13.1	6.40	6.70	5.5	2.60	2.90	3.2	1.30	1.90
	現行	12.4	5.85	6.55	6.3	3.15	3.15	3.8	1.60	2.20
	対比	0.7	0.55	0.15	△0.8	△0.55	△0.25	△0.6	△0.30	△0.30
古川	改訂	13.7	6.70	7.00	6.2	3.00	3.20	3.3	1.35	1.95
	現行	13.0	6.15	6.85	6.2	2.95	3.25	3.8	1.60	2.20
	対比	0.7	0.55	0.15	-	0.05	△0.05	△0.5	△0.75	△0.25
小牛田	改訂	14.2	7.05	7.15	5.1	2.45	2.65	3.0	1.20	1.80
	現行	13.0	6.15	6.85	6.2	2.95	3.25	3.8	1.60	2.20
	対比	1.2	0.90	0.30	△1.1	△0.50	△0.60	△0.8	△0.40	△0.40
築館	改訂	10.1	4.6	5.5	4.7	2.30	2.40	3.4	1.5	1.9
	現行	10.2	4.7	5.5	5.8	2.85	2.95	3.5	1.5	2.0
	対比	△0.1	△0.1	-	△1.1	△0.55	△0.55	△0.1	-	△0.1
迫	改訂	11.0	5.50	5.50	4.2	2.05	2.15	2.9	1.10	1.80
	現行	10.8	5.35	5.45	4.2	1.95	2.25	3.1	1.25	1.85
	対比	0.2	0.15	0.05	-	0.10	△0.10	△0.2	△0.15	△0.05
石巻	改訂	14.5	7.25	7.25	6.8	3.25	3.55	4.0	1.9	2.1
	現行	14.2	6.85	7.35	7.5	3.75	3.75	4.1	1.9	2.2
	対比	0.3	0.40	△0.10	△0.7	△0.50	△0.20	△0.1	-	△0.1

国庫負担割合並びに国庫負担限度共済金額について

共済掛金に対する国庫負担割合は畜種ごとに定められており、又国庫負担の対象となる共済金額の最高限度については毎年告示されることになっています。

昭和53年4月1日適用

共済目的の種類	国庫負担割合	国庫負担限度共済金額		
		改訂	現行	
包括共済	1/2	乳牛の雌	264,000 ^円	218,000 ^円
		肉用牛	254,000	234,000
	2/5	一般馬	956,000	531,000
		種豚	78,000	66,000
個別共済	1/2	肉豚	16,000	16,000
		乳用種種雄牛	1,167,000	998,000
	2/5	肉用種種雄牛	590,000	538,000
		種雄馬	3,527,000	2,014,000

画期的な家畜ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

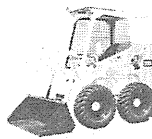
- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ディー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517 5511

[新規事業紹介]

自給飼料生産向上特別対策事業

—略称自給特対事業—

宮城県畜産課

この事業は、昭和50年度から海外の飼料穀物の価格が急騰したこと等に対処して行われた緊急粗飼料増産対策事業(詳しくは、本誌34号に紹介)が昭和52年度に終ること、我が国の大家畜畜産経営の飼料基盤は極めて弱いこと及び水田利用再編対策の一環として飼料作物の生産推進を図ることが必要であることなどから、新たに、粗飼料を中心とした飼料の増産と効率の利用を目的として設けられた事業であります。

自給特対事業の内容は緊急粗飼料増産対策事業の事業内容を中心にして、水田利用再編にともなう転換水田の整備や未利用の活用に対する助成など、助成対象の範囲を拡大しておりますので、事業内容、趣旨を御理解いただき、畜産農家の皆様が、地域に合った事業種目を選びご活用くださるよう希望します。

1 事業の対象となる飼料

①飼料作物、牧草、②飼料用麦、③稲わら等 ④野草

2 事業の内容

① 地区計画の策定

地区の範囲は、おおむね旧市町村の範囲を地区とした基本計画を樹立し、3カ年計画で事業を行うことになっております。事業を実施できる市町村は酪農近代化計画、肉用牛振興地域、飼料作物生産振興地域の指定があったところや転換水田整備事業を行う市町村も含まれます。

② 飼料基盤集積対策事業

耕作放棄地、遊休地等の未利用地を畜産農家の飼料基盤としての利用を図るために、農協等がその利用斡旋を行う事業及び林地等の畜産の利用を図るための林間放牧利用を促進する事業に要する経費に助成するものです。

③ 飼料基盤整備事業

①転換水田等整備事業。転換水田、既耕地、牧草地の整備を行う事業(牧草地では5ha以上、その他は1ha以上10ha未満)です。

②飼料畑牧草地造成事業。牧草地や飼料畑の新規造成を行う事業で規模は1haから10ha未満までの小さいものを対象としております。(牧柵もできます。)

③農道、牧道整備の新設及び改良。比較簡易な規模のものを考えております。

④ふん尿かんがい施設の整備

⑤特認事業

④ 生産利用合理化事業

①生産利用合理化事業。飼料作物及び飼料用穀物の栽培管理収穫運搬調製及び貯蔵のために必要な機械施設(農具庫等の施設及び敷地造成を含む)の導入、設置を行う事業です。飼料作物の作付面積が20ha以上必要です。


②転作粗飼料等流通促進事業。流通粗飼料の栽培管理収穫運搬調製貯蔵のために必要な機械施設の整備とこれらの敷地の造成を行う事業です。飼料作物の作付面積としてはキューブ型では50ha以上、サイロ型、梱包型では30ha以上を条件規模とすることになっています。

③未利用資源利用促進事業。稲わらなどの未利用資源の集荷、加工調製及び貯蔵のために必要な機械施設の整備と施設用地の造成を行うおとする事業で受益集荷面積の条件規模は前の②と同じです。

④特認事業。①②③の事業に準ずるものとして、東北農政局長が特に必要と認める事業です。

以上のように、草地開発事業などで採択できない小さな規模の飼料基盤の造成や整備と飼料作物(牧草も含まれます)用の機械化作業を共同で行うのに心強い味方となる事業です。本県の水田利用再編対策としての食糧需給総合対策に応じて畜産をとり入れられる農家の皆様を含めて、大家畜畜産経営の安定に役立つ自給飼料関係の増産と効率利用のために、また、これを機会に粗飼料の通年サイレージを採用するために、転換水田の整備、共同利用機械の導入、サイロの設置などを計画してはいかがでしょうか。

事業内容や採択条件など詳しいことは各家畜保健衛生所指導課にお問い合わせください。なお、この事業は新規事業のため、正式の事業実施要綱は53年6月頃に出される予定で、市町村役場、農協等へのお知らせはこの後に なります。(草地飼料係)




いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

酪農協の牛乳!

全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会 (全酪連)

小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38

TEL 02293-2-2211-3

新農場の建設すすむ—宮農短大—

川合 宏

経過の概要

農業短大では仙台市根岸町の仮すまいから現在の仙台市山田の新校舎に移転してすでに満6年になる。附属農場は従来から鈎取の農場と山田の牧場に分散していた。

牧場であった山田の敷地に新校舎の建設が決定した頃から、農場を一つにまとめた総合農場の構想があった。その頃は、農業の体質変改が著しく、機械化、大型化、あるいは東北の食糧基地化が叫ばれていた頃で、農場も大型の近代化をめざして用地の物色がつづけられたものである。当然ながら総合農場は学生の実習農場であるため、学校からの距離に制約もあったから、なるべく近隣の地に用地を求めようとした。最も近い学校敷地の北隣の雑木山も候補にのぼったが、実現しないまま、現在では太白団地に一変してしまっている。また、校舎から歩いて数分の国鉄用地も候補にのぼり、狭いこともあったが、ここは仙台市立の山田中学校がすでに開校された。物色はさらに遠く、秋保町・宮城町や吉岡町にまで及んだが、最後に秋保町の赤石附近の山林と仙台市坪沼の針山の二候補地にしぼられ、最終的に現在の坪沼の針山に落ち着いたものである。

約32haの雑木山が農場用地と決定し、各種の基本調査をへて、昭和51年度より建設が畜産公社の手でおこなわれることとなった。

土地条件はめぐまれたものではなく、障害となる事項が多く、関係者の苦慮は大きかったが、一つ一つ難問は解決されつつあり、現在では52haの造成が終って、雑木山の一部分が一変し、農場開設の日を待望する所までこぎつけた。

「難問を解決してようやくこぎつけた」と表現したが、昭和51年度に入って、筆者が農場長に就任直後から、総合農場の再検討が開始され、坪沼の雑木山を開拓するよりも既存の農地を利用できないものかという検討がはじまったのである。候補には固有地の愛子の農学寮跡地の

一部や農業センター内の用地などが出され、その都度、短大の教職員は現地をみて適否の検討がつづけられた。いずれも学生の総合実習用地としては直ちに利用することがむつかしく、最終的には、農場用地の目的で取得した坪沼の針山を有効に使用すべきであるとの結論に達した。その間に関係各位から多くの助言や激励の言葉をいただいたことが忘れられない。

位置と規模の概要

新農場は第一図に示すとおり東北縦貫道に沿った位置で、西に縦貫道をこして大八山牧場がながめられる。

用地内の最高点は海拔高度198.4mで北斜面が比較的に多いことと、地すべり危険地がある関係で、造成予定地の面積は限られているが、畑地以外も自然放牧地(約3ha)や測量実習地、自然観察林その他に活用される予定で、学生にとっては実習地以外の多目的の学習の場として意義深い農場となることを期待している。

第2図に示すように51年度に造成された2haには、すでに草草が完成して、人工堆肥の施与試験が実施されるなど、農場としての始動がみられる。

52年度には農地1.7haと建物敷地1.0ha、草地0.5haの造成が終了する。

58年度には牛舎などの建物の建設が着手され、懸案の一つであった農場へのスクールバス乗り入れの路線も明るい見とおしができた。もう一つの水源確保が心配されたが、用地内に水源をもとめてボーリングし、予想以上の水の出ることも確認され、58年度には貯水槽をつくり各種用水として利用が可能となる。

どんな農場をつくるのか?ということが最も重要であるが、現在の所は総合農場として、作物・園芸・畜産・実習や農業土木の実習が加えられて文字どおり総合的な実習ができるように計画されている。

家畜として乳牛10頭、肉牛10頭、豚15頭が考えられており、牛舎は58年度には完成される。将来は鶏や羊など

新しくみあい子牛用人工乳

ニューモーレット特A

- 良く溶ける顆粒にしました。
- カロリーを高め、味を良くしました。
- 良質原料を厳選使用しました。
- シットリした扱いやすい性状にしました。

農協・宮城県経済連・全農

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼菰洗1

02202 (2) 2278-9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018-9

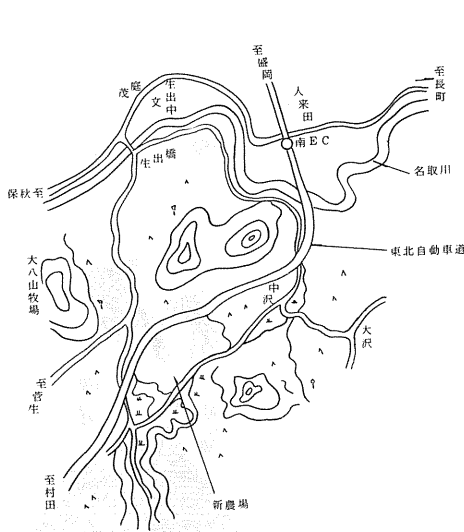
の計画も生まれてくるであろう。飼料畑や草地の面積の確保が重要な課題で、とりあえず2.5haの造成分と1.7haの畑地を一般作物や園芸作物と飼料作物との輪作でもって行く計画である。放牧地3.0haについても将来は草地化が必要であろうし、未利用の雑木林の開拓もしなければならぬと考えられる。

今後の予定では0.8haの樹園予定地の造成と水田用地の取得が残されている。地形と水の関係から用地内に水

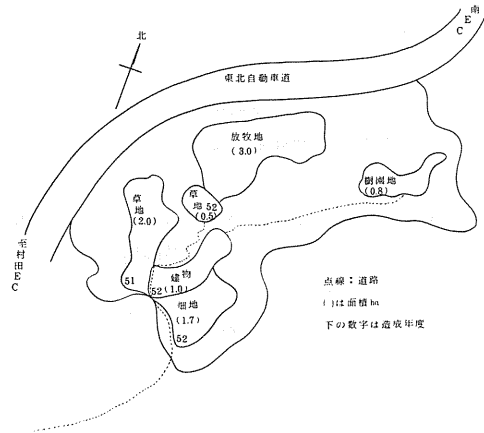
田を求めることはできないので、用地外に求める予定である。

建設途上のため、御紹介に値しないものになったが、この新農場と学内農場の再編によって学生教育の実をあげ、県下に有能な後継者や技術者を送り出すことを念願している。

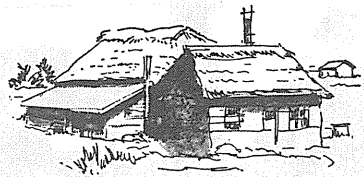
(宮城県農業短期大学農場長)



第1図 新農場の位置



第2図 新農場の造成地区分



飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
石巻市川町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252 (5) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事
さく井工事 畜舎工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事

株式会社 北辰技術
仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

「宮城県優良畜産経営技術発表会」開催される

畜産会主催による畜産経営技術発表会が去る3月24日仙台市宮城県農協ビルにおいて開催されました。

本発表会は、先進的畜産経営技術の普及、交流と相互研さんを目的に開催されているもので、本年度は酪農、肉用牛両部門より6名の発表者があり、関係者多数出席され盛會裡に終了いたしました。

助言講師として、県畜産試験場長鹿又久雄、県農業普及課畜産専門技術員二階堂昭昌両先生を招き、審査ならびに助言を頂きました。

なお、本発表会は来る5月16～17日開催される全国大会の県予選も兼ねており、審査の結果肉用牛部門の次の方が本県代表に選ばれました。

登米郡東和町 錦織 橘邦夫氏

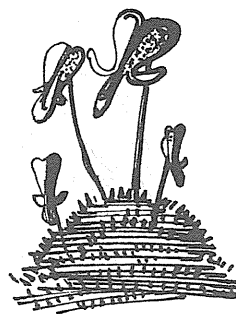
(発表事例、乳雄を主体とした肥育経営について)

「北海道、東北ブロック肉用牛経営コンクール」開催される

全国肉用牛協会主催の当コンクール発表会が2月24日山形市において開催されました。

本発表会は肉用牛経営意欲の高揚と先進的技術および経営方針を広く普及することを目的に、農業祭参加行事として全国5ブロックにおいて開催されるものです。

北海道・東北ブロックは、繁殖経営を主体に各道県代表6名が発表されたが、審査の結果本県代表の登米郡南方町西郷、近藤秀太郎氏が最優秀賞を受賞しました。




新刊図書案内

家畜排せつ物の処理・利用の手引き
発行、中央畜産会 定価1,000円

お申込みは、宮城県畜産会へ





 飼い上手 育て上手は……
 みのたに……で
 動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店	山形市蔵王成沢字町浦491～2	TEL883121
山形店	山形市山田字羽黒堂5番216	TEL454306
仙台店	仙台市山田字羽黒堂5番216	TEL454306
鶴岡店	鶴岡市大字布目字東通り57～1	TEL240963
いわき店	いわき市常磐湯本栄田3	TEL0246440300

こくておいしい大型びん……
森永
ハイクラウン 牛乳
 宮酪乳業株式会社

畜産団体紹介 (18)

団体名 社団法人宮城県畜産物価格安定基金協会
代表者 会長 加藤 武夫
所在地 仙台市上杉一丁目2番16号
 農協ビル内
電話番号 (0222) 64-8450
会員数 84会員
主な事業 会員の出資金からの果実と生産者、指定出荷団体(農協)、指定荷受機関(経済連)からの積立金とで、生産者が会員農協を通じて出荷した肉豚や肉牛(和牛去勢、乳用牛勢)の毎月の市場平均価格が補てん基準価格を下廻ったときに補てんを行なう。

畜産物の市況

種目	規格	単価	価格	摘要	
卵		1 kg	239	卸売価格 3月平均	
ブロイラー	A級	と体 1 kg	270	〃	
豚肉	上	枝肉 1 kg	683	〃	
	中	〃	633	〃	
牛	和牛 メス	上	〃	1,955	〃
	〃 ヌキ	上	〃	1,952	〃
	〃 ヌキ	中	〃	1,489	〃
	乳牛 メス	中	〃	1,255	〃
肉	〃 ヌキ	中	〃	1,190	〃
和牛子牛		1頭	253,078	3月10日 小田市場	
子豚		〃	31,910	3月25日 〃	

卵, ブロイラー, 豚肉, 牛肉価格……県経済連調べ(宮城県)

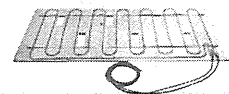
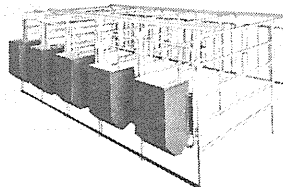
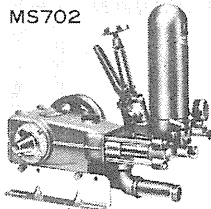
ユーザーの皆様と

畜産の発展に努力します

SEP対策に 劇 **チオタール**[®]
 広範囲合成抗菌製剤
 チアンフェニコール

〔営業品目〕 取扱い品の一部です。

MS702



(株) 東和薬品

TEL (代表) 02202(2)-3727

人の動き

宮城県

4月1日付

新	旧	氏名
農政部参事兼畜産課長	畜産課長	渡行元二郎
畜産課技術副参事(畜産経営担当)	畜産課技術副参事兼技術補佐	松本元
課長補佐	県民生活課補佐	本々原
技術補佐	畜産課技術主幹兼肉畜係長	北原
技術主幹兼肉畜係長	古川家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	滝川
畜産環境整備係長	築館	星
畜産開発公社担当)	畜産課技術主幹兼畜産環境整備係長	滝川
技術主幹	畜産課技術主幹兼畜産課長	阿部
草地飼料係長	畜産課試験場飼料科長	伊藤
畜政係長	農政課経理第2係長	阿部
酪農係長	畜産課技術主査	伊藤
技術主査	古川家畜保健衛生所技術主査	伊藤
技師	仙台	伊藤
畜産試験場研究第1部長	小田	伊藤
畜産試験場研究第2部長	農業改良普及所技師	伊藤
第3部長(心得)	農業経済課技術補佐	伊藤
主任研究員兼乳牛科長	白石牧場長	伊藤
主任研究員兼肉牛科長	畜産課技術主幹兼草地飼料係長	伊藤
肉牛科長	畜産課試験場主任研究員兼肉牛科長	伊藤
草地飼料科長	養鶏科長	伊藤
経営研究科長	岩出山牧場技術主査	伊藤
主事	畜産課技術主査	伊藤
大河原家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	仙台家畜保健衛生所技術主査	伊藤
技師	古川福祉事務所主事	伊藤
仙台	畜産課技術主幹兼酪農係長	伊藤
技術主幹兼指導課長	新規採用	伊藤
病性鑑定課長	石巻家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	伊藤
技術主査	仙台	伊藤
技師	畜産課技術主査	伊藤
古川	大河原家畜保健衛生所技師	伊藤
防疫課長	古川	伊藤
技術主査	石巻	伊藤
指導課長	畜産課試験場研究員	伊藤
技師	古川家畜保健衛生所技師	伊藤
技術主幹兼防疫課長	畜産課技術主査	伊藤
指導課長	築館家畜保健衛生所技師	伊藤
技師	畜産課試験場技師	伊藤
技術主幹兼指導課長	迫家畜保健衛生所防疫課長	伊藤
防疫課長	畜産課技術主査	伊藤
白石牧場長	築館家畜保健衛生所技師	伊藤
岩出山牧場	気仙沼保健衛生所技師	伊藤
農業実践大学校畜産学部長	迫家畜保健衛生所指導課長	伊藤
石巻福祉事務所長	畜産課技術主査	伊藤
管財課主幹兼庁舎係長	仙台家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	伊藤
石巻農林事務所技術主幹兼農務課長	畜産課技術主査	伊藤
農地開発課主事	畜産課試験場主任研究員兼乳牛科長	伊藤
農業センター技師	畜産課補佐	伊藤
農業短期大学助教授	畜産課主幹兼畜政係長	伊藤
退職(3.31付)	大河原家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	伊藤
退職("/>	畜産課試験場主事	伊藤
	技師	伊藤
	草地飼料部長	伊藤
	畜産試験場家畜第2部長	伊藤
	迫家畜保健衛生所技師	伊藤